

切花・鉢花の7月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 7月5日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	2019年	2,005	35	
		2020年	1,749	45	
		2021年	1,597	35	
		2022年	1,253	44	
		2023年	1,238	61	
	5カ年平均		1,568	43	
	2024年見通し		1,300	40	
概要	愛知、岐阜、三重から入荷。上旬から新盆需要に期待。中旬は入荷も落ち着いて、下旬からは旧盆の引き合いもでて、動きが良くなる見込み。				
小 ぎ	実績	2019年	1,858	21	
		2020年	1,672	31	
		2021年	1,467	24	
		2022年	1,017	41	
		2023年	1,309	38	
	5カ年平均		1,465	30	
	2024年見通し		1,300	35	
概要	愛知、長野、埼玉から入荷。上旬は新盆需要期待。梅雨明けの時期次第で下旬からの数量が大きく変動する。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	2019年	1,070	41	
		2020年	1,005	45	
		2021年	976	40	
		2022年	971	34	
		2023年	1,000	36	
	5カ年平均		1,004	39	
	2024年見通し		1,000	35	
概要	長野からの入荷が中心。遅い梅雨入りの影響もあって、遅れていた物が一気に追いつく出荷となった。前半は品種により山が続くものもあるが、次第に落ち着く見込み。				
か す み	実績	2019年	129	85	
		2020年	106	95	
		2021年	115	85	
		2022年	140	88	
		2023年	149	85	
	5カ年平均		128	87	
	2024年見通し		150	85	
概要	福島、長野からの入荷。上旬が据え置き株のピークとなる。中旬に数量はまとまりそう。下旬には少し落ち着く見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	2019年	334	144	
		2020年	302	152	
		2021年	277	148	
		2022年	265	161	
		2023年	273	146	
	5カ年平均		290	150	
	2024年見通し		270	140	
概要	オリエンタルは新潟、北海道、埼玉、岐阜からの入荷。新潟は八重ユリを増やしており、入荷は多め。鉄砲は兵庫、長野、愛媛からの入荷。				
洋らん	実績	2019年	333	92	
		2020年	235	100	
		2021年	214	106	
		2022年	195	153	
		2023年	172	148	
	5カ年平均		230	115	
	2024年見通し		180	145	
概要	愛知、静岡、鹿児島産に加え、輸入品が入荷する。オンシジウムは徐々に減少する見込み。デンファレはアンナの入荷はストップし、ソニア中心に入荷は減少する。シンピジウムはニュージーランド産の現地価格上昇で入荷は多く見込めない。カトレアは微増の見込みだが、不足気味の展開が予想される。コチョウランは入荷量、引き合いともに横ばいの見通し。				
ばら	実績	2019年	665	45	
		2020年	585	54	
		2021年	557	51	
		2022年	644	51	
		2023年	683	52	
	5カ年平均		627	51	
	2024年見通し		620	51	
概要	愛知、岐阜、三重、山形、長野などから入荷。昨今の夏場の高温から夏季の収穫を見合わせる品種も出てきており、暑さ対策が課題となってくる。				
枝も	実績	2019年	1,570	56	
		2020年	1,490	58	
		2021年	1,366	64	
		2022年	1,482	71	
		2023年	1,359	75	
	5カ年平均		1,453	65	
	2024年見通し		1,400	70	
概要	遅い梅雨入りで天候が気になり。新盆に入るが大きな影響がなければ、七夕用の笹の出荷が始まり、花蓮、蓮の葉などの納品も始まる。法月も順調な出荷となる見込み。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	2019年	23,440	983	
		2020年	25,748	1,020	
		2021年	23,394	992	
		2022年	21,480	1,095	
		2023年	23,404	989	
	5カ年平均		23,493	1,014	
	2024年見通し		23,000	950	
概要	<p>入荷量は前年並か。現状6月までは売れ行きが厳しい。特に8号以上の単価が厳しく、6号以下の単価は例年並の見込みである。色別では、ピンク花の売れ行きが厳しいと予想される。</p> <p>前年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(71.6%)、2位長崎(21.4%)、3位徳島(2.8%)となっている。</p>				
フ ア レ ノ プ シ ス	実 績	2019年	36,823	2,504	
		2020年	29,373	3,215	
		2021年	31,387	3,439	
		2022年	22,489	3,554	
		2023年	26,588	3,534	
	5カ年平均		29,332	3,194	
	2024年見通し		26,500	3,509	
概要	<p>入荷量は前年並か。ミディーはお中元需要も減り、単価の低迷が続いている。円安の影響で苗の輸入が減り、生産量も減少している。気温が高く開花スピードが早いいため、大輪、ミディーとも咲き気味より、固めで出荷をお願いしたい。</p> <p>前年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースで1位愛知(57.3%)、2位静岡(8.5%)、3位千葉(7.5%)となっている。</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	2019年	11,990	117	
		2020年	13,446	121	
		2021年	13,715	103	
		2022年	5,142	72	
		2023年	9,650	93	
	5カ年平均		10,789	105	
	2024年見通し		9,600	93	
概要	<p>入荷量は前年並か。酷暑の影響で生産量は例年より減少する見込み。入荷は例年通り3~4号の小鉢中心となる。気温の上昇に伴う花持ち、湿度によるムレなどの問題から安値で推移する見込み。</p> <p>前年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(58.7%)、2位愛媛(30.7%)、3位愛知(6.4%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
オンシジウム	実績	2019年	1, 806	554	
		2020年	1, 078	701	
		2021年	1, 113	412	
		2022年	711	414	
		2023年	711	561	
	5カ年平均		1, 231	556	
	2024年見通し		700	549	
概要	<p>入荷量は前年並か。物量は少ないが安値安定の動きが予想される。6号前後の3本寄せ中心の入荷になる。咲き前には注意し、固めの出荷をお願いしたい。 前年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(92.6%)、2位高知(6.4%)となっている。</p>				
スパティ	実績	2019年	5, 880	279	
		2020年	6, 083	314	
		2021年	7, 104	314	
		2022年	2, 942	471	
		2023年	4, 826	357	
	5カ年平均		5, 366	336	
	2024年見通し		4, 800	354	
概要	<p>入荷量は前年並か。6月の前倒し出荷や生産量減少が要因で平年より少ない見込み。4号以上が出荷の中心になるため、価格帯は通常なら上がる場所であるが、高価格帯商材の動きが鈍いため、単価は厳しい見通し。 前年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重(36.3%)、2位愛知(36.2%)、3位岐阜(21.2%)となっている。</p>				
ドラセナ	実績	2019年	22, 575	577	
		2020年	20, 018	872	
		2021年	19, 934	1, 127	
		2022年	16, 485	1, 214	
		2023年	17, 273	977	
	5カ年平均		19, 257	933	
	2024年見通し		17, 000	950	
概要	<p>入荷量は前年並か。海外からの輸入原木の仕入単価が上がりすぎており、平年より入荷量は少ない見込み。特に、8号以上のサイズの原木の入荷は少ない見込み。品目では、コンシンネの生産量は激減しており、今後の生産も少ないと見込まれる。 前年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(60.0%)、2位沖縄(9.4%)、3位三重(7.8%)となっている。</p>				